

3Dデジタイザ ご利用事例1



キングパーツ株式会社 様

【利用のきっかけ】

社内のハンディープローブ三次元測定機では、多くのデータの取り込みとデータのつなぎ合わせに時間を要していた。他の公設試の装置は更新が進んでいなかった。



【利用内容】

少ロット・精密製品のCADデータに対する鋳造製品の誤差測定。

【利用の効果】

短時間でデータ取得ができ、どう修正するかの方針決定が早くなった。クライアントの許容範囲までのあたりをつけること、それを説明するエビデンスの取得が容易になった。

